

平成 27 年 1 月 13 日

合同会社工農技術研究所（宇都宮大学発ベンチャー企業）の事業化を 日本政策金融公庫宇都宮支店と協調して支援

足利銀行（頭取 松下 正直）と、日本政策金融公庫宇都宮支店国民生活事業は、宇都宮大学発ベンチャー企業である合同会社工農技術研究所に対し、事業化に必要な資金の融資を協調で行いました。

当社の事業は、完熟した大粒イチゴを個別収納できる容器を開発・販売するものであり、本容器により、可食部分の接触を防止することで傷みやすい完熟イチゴの収穫・出荷が可能になります。また、強度・耐振性にも優れており長時間の輸送ができるため、従来は難しかった海外富裕層への高品質な大粒イチゴの提供ができるようになり、栃木県産イチゴの海外における新たなマーケットの創出が期待できます。

なお、本事業は宇都宮大学工学部尾崎功一教授が発明した特許技術と農学部柏寄勝准教授のノウハウを活用した工農連携の取組みであり、第1回アグリプレナーグランプリで最優秀賞を受賞したビジネスプランを事業化するものです。

当行では、新たな需要を創造する新技術・新ノウハウ・新サービスを提供する事業として、専用融資商品「あしぎんニュービジネス支援資金」で支援を行いました。

今後とも地域金融機関として、革新的な技術・ノウハウを持ち、高い成長性が見込まれる中小企業・小規模事業者を積極的にサポートしてまいります。

＜融資先の概要＞

企 業 名	合同会社工農技術研究所（平成 26 年 10 月設立）
代 表 者	寺門 孝
所 在 地	栃木県宇都宮市陽東 7 丁目 1 番 2 号 地域共生開発センター3 階
融 資 金 額	総額 20 百万円（当行 10 百万円、日本政策金融公庫 10 百万円）
事 業 内 容	イチゴをはじめとする農作物の包装容器開発・販売
・現状、イチゴは箱やプラスチック製の容器に並べて出荷しているため、可食部分の接触による劣化を抑えるという観点から、農家は完熟前のものを収穫してしまう。しかし、そのような状態で収穫すると、イチゴは追熟しないため本当のおいしさを味わうことができないという問題が生じる。 ・本容器は、傷みやすいイチゴの可食部分を劣化させることなく搬送でき、糖度が高い完熟イチゴの流通を可能とするツールである。容器自体の強度や耐震性はもちろん、冷蔵状態を保てれば相応の期間、高品質を保持できることは大学によるテストで実証されており、輸出をはじめとする長距離輸送での活用が見込まれる。 ・近年、日本の高品質な農産物は経済成長が著しいアジアを中心に需要が増加しており、本容器で栃木県を代表する農作物であるイチゴを完熟状態で輸出することによって、新たなマーケットの創出が期待でき、当社の高い成長性を見込むことができる。	

＜足利銀行「あしぎんニュービジネス支援資金」概要＞

ご利用 いただける方	新規創業または創業から 5 年以内で、新たな需要を創造する新技術・新ノウハウ・新サービスを提供する事業者
資金のお使いみち	事業資金（運転資金・設備資金）
ご融資額	100 万円以上 3,000 万円以内
ご返済期間	運転資金 10 年以内、設備資金 15 年以内
利率（年）	固定金利 年 1.200%～2.000% ※平成 26 年 12 月現在
担保	原則無担保
連帯保証人	一定条件を満たす場合、1,000 万円までは不要

※ご融資の際には当行所定の審査がありますので、あらかじめご了承ください。

＜参考：個別包装容器画像＞



以 上